

謹賀新年

明

けましておめでとうございます。市民の皆様方におかれましては、令和4年の新春をお健やかにお迎えになられたことを心からお喜び申し上げますとともに、常に市政執行に対し深いご理解と温かいご支援をお寄せ頂きましたことに改めて厚く御礼を申し上げます。

さて昨年は新型コロナウイルスの感染拡大に対し、医療関係の皆様をはじめ国や県の担当者の献身的なご尽力、そして何より市民の皆様のご理解とご協力を賜りながら、9月14日以降は感染者の報告もなく、落ち着いた状況を維持できるとなりました。

こうした状況の中にあつて、秋口の修学旅行や冬休みにかけての観光客も徐々に平戸を訪れる方々が増えており、従来の賑わいを取り戻すことができ、安心安全な年末を迎えることができましたことに心より感謝申し上げます。

なお今後とも、国内の感染情報に注視しながら、三回目のワクチン接種についても、滞ることなく、希望する市民の皆様幅広く行き渡るように、引き続き医療関係者の皆様をはじめ国や県との連携を緊密にしてい

りたいと思います。

さて本年は、引き続き新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、徐々に経済活動を再開させ、従来の活気を取り戻すために、実施可能な事業を着実に実現していく節目の年にしたいと思っています。

具体的には、2月に予定されている「平戸オランダ商館開館10周年記念事業」や、秋口に予定されている「全国和牛能力共進会鹿児島大会」などにおいて、国内に広く平戸市の魅力や底力を発信する絶好の機会が待ち受けています。

また都市部の子育て世帯に好評だった「キッズジョブ in 平戸」の再開や、本市を代表する産直市場である「ひらど新鮮市場」のレストランのオープンなど、従来から平戸との交流を支えてくださる市外の平戸ファンの皆様との連携をより一層促進し、経済活性化が加速化できることを期待しています。

一方で、長引くコロナ禍にあつて、私たちの生活スタイルも大きな転換期を迎えています。ICTを活用した非接触型資機材など、あらゆる部門においてデジタル技術の導入が図られ、利便性への追及とともに、生活様式の変化が迫りくる実感があ



「キッズジョブ in 平戸」も約2年ぶりに開催予定

ます。行政と致しましては、こうした時代のニーズに応えた取り組みをしつかりと支援させていただくとともに、あらゆる課題解決への手法を円滑かつ効率化するためのDX(デジ

タル・トランスフォーメーション)対応の担当部局などを新たに設置して複雑かつ多様化する行政業務に正面から向き合っていきたいと思っています。

いずれの分野においても不透明かつ厳しい時代の到来ではありますが、市民の皆様との信頼をより強固なものにし力を合わせて乗り越えてまいります。

結びに、この一年が皆様にとりまして、限りなく幸せで明るい飛躍の年になりますことをお祈り申し上げます。年頭のごあいさつといたします。



平戸市長
黒田成彦

新型コロナウイルス感染症対策を講じながら
従来の平戸の活気を取り戻すため
さまざまな分野で力を合わせて乗り越えていく



平戸市教育長
松永 靖

明 けましておめでとうございます。昨年から落ち着き始めた新型コロナウイルス感染症が、年末のオミクロン株の出現で、市民の皆様も緊張感を持って感染対策に取り組んでおられるものと拝察いたします。

昨年、市内の小中学校ではGIGAスクール構想事業に基づき、児童生徒一人一台の教育用コンピュータを整備し、調べ学習やドリル、家庭学習として活用が始められました。また、4月には県立佐世保特別支援学校北松分校小中学部が開校し、現在、小学部10名、中学部4名が通学しています。さらに、市内の各中学校の2年生を対象に『平戸検定』ジュニアバージョン』を初めて実施。また、中学生の子ども議会を市長や教育長に各中学校の代表が意見を提案し議論する形式に変えて開催しました。

生涯学習では、東京オリンピックが開催され、5月8日には、聖火リレーが本市にやってきました。しかし、昨年も新型コロナウイルス感染症が周期的に広がり、各種大会やイベントを十分な状態で実施することはできませんでした。そのような中、感染予防対策を十分に行いながら、一昨年より少しでも多く開催できたことは、市民の皆様とともに、思い出や希望を持つことができたのではないかと思います。

新型コロナウイルス感染症の影響で、教育委員会の事業実施に関しましては、先が見通しづらい状況ですが、健康と安全を第一に判断していこうと考えておりますので、ご理解ご協力をお願い申し上げます。最後に、市民の皆様の益々のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。



平戸市議会議長
山田 能新

子や孫の世代も夢を持ち 挑戦できる平戸市を創っていくため 全力で取り組んでいく

明 けましておめでとうございます。平戸市議会を代表いたしまして、一言新年のごあいさつを申し上げます。

市民の皆様には、輝かしい初春を新たな希望と期待の中で迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。

また、日ごろから平戸市議会活動に対し温かいご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

先般行われました平戸市議会議員一般選挙におきましては、多くの新人議員が

誕生し、改選後初めてとなる、12月定例会市議会においては、多くの市民の皆様が傍聴に足を運んでいただき、議会に対する関心の高さと、その期待の大きさを改めて感じる事ができました。

私も、議長に就任し2カ月を過ぎようとしていますが、日に日にその責任の重さを感じており、これからの平戸市発展のため、さらなる努力をしてみたいと、決意を新たにしております。

さて、昨年を振り返りますと、令和2年から猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症の影響により、日常生活や経済活動、各種イベントなどは、中止や規模縮小での開催を余儀なくされましたが、このような状況の中、7月には57年ぶりに夏季オリンピック・パラリンピック東京大会が開催され、本県出身選手の金メダル獲得をはじめ、日本のメダル獲得総数が史上最多となるなど明るいニュースとなりました。緊急事態

宣言下にある都市での開催には、賛否両論ありましたが、真剣に競技と向き合う選手の姿には、勇気をもらい感動を覚え、記憶に残った大会でもありました。

昨年後半からは、ワクチン接種の効果等もあり、新型コロナウイルス感染症の感染者数が減少傾向となり、それまでの行動制限も緩和されました。本市においても久々の大型イベントとなった「平戸くんち城下つんのーで祭」が平戸城下旧町地区において開催され、秋の味覚を楽しむ家族連れなど多くの来場者で賑わいをみ



久々の大型イベントとなった「平戸くんち城下つんのーで祭」

せました。また、今年は2年ぶりに成人式が開催されます。ウィズコロナ時代の新しいライフスタイルを実践し、少しずつ各種イベント等の開催が増え、活気に満ちあふれた笑顔いっぱい平戸市となることを切に願っております。

平戸市議会といたしましても、市民の皆様の安全安心なまちづくりを最優先で推進するとともに、二元代表制における議会の機能を最大限に発揮し、少子高齢化や人口減少に伴うさまざまな課題に対応しながら、子や孫の世代も夢を持ち、挑戦できる平戸市を創っていくため全力で取り組んでいく所存でありますので、市民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

結びに、本年が市民の皆様にとりまして、ご多幸とご繁栄の年でありますことを心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。



長崎県議会議員
西川 克己

明 けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、お健やかにあります。

昨年は国中が振り返られました新型コロナウイルスの影響を受け、長崎県ではこれまで6千名を超える新規感染者が確認されており、このうち70名を超える方がお亡くなりになっています。亡くなられた方のご冥福と療養中の皆様の1日も早いご回復を衷心よりお祈り申し上げます。また、新種のおミクロン株の発症が取りざたされております。今後とも感染には十分気を付けていただきたいと思います。

さて、昨年10月の選挙で選出されました黒田市長をはじめ、市議会議員の皆さんご当選おめでとうございます。平戸市の皆さんからご要望いただいております「西九州

自動車道整備促進」「洋上風力発電」「農林水産業の振興」「向月トンネル（仮称）」「宮の浦漁港災害」等平戸市の課題について、皆様と意思の疎通を図り克服してまいりたいと思います。また、県におきましては、「新型コロナウイルス感染症対策」「特定複合観光施設（IR）区域整備の促進」「九州新幹線西九州ルート」の整備促進」「幹線道路の整備」「石木ダムの推進」等数多くの課題解決に務める旨の知事の決意が11月の定例議会で述べられています。

今後とも平戸市と長崎県の橋渡し役として、活動してまいりたいと思います。市民皆様のご指導ご鞭撻をよろしく願います。結びに、平戸市の更なるご繁栄と皆様の益々のご健勝と、一年がよい年でありますようにご祈念申し上げます。